

# 熊本県訪問看護連絡協議会管理者会議事録 2021年度

開催日	2021年10月23日(土) 14:00 ~ 16:00	
開催場所	熊本県看護協会 3F大研修室 (会場 27名参加) ZOOMによるオンライン (ハイブリッド方式) (オンラインで78事業所 参加)	
災害・教育広報合同研修会 共催 熊本県看護協会	司会：河添 (タックリハサポートセンター)	書記：遠藤 (熊本県看護協会訪問看護ステーションくまもと)

## 令和3年度熊本県訪問看護ステーション連絡協議会在宅ケア研究会

### 《訪問看護ステーションにおけるCOVID-19対策学習会》

テーマ ~COVID-19体験事例を知る・聞く・学ぶ~

〈総合司会〉 (河添氏)

1) 主催代表挨拶 (管理者代表 木村氏)

新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年ぶりの開催となりました。各事業所では感染防止に努められ、大変ご苦労されていると思います。本日はハイブリッド方式で会場と県内各事業所とオンラインで繋ぎ、「訪問看護ステーションにおける COVID-19 対策学習会」を開催したいと思います。3事業所の体験談をお聞きし、教訓を生かし共に学び向上して行きたいと思っています。

2) 体験事例発表

座長：森安氏

- ① 堀尾会 訪問看護ステーションたくまだ熊本 管理者 日高裕子氏
  - ② 訪問看護ステーション しらふじ 管理者 山下直美氏
  - ③ 在宅ステーション水前寺 管理者 宇土明美氏
- ・行政や感染対策の専門家からの感染対策指導(感染対策本部の設置、感染制御、PPEの着脱、時間や空間のゾーン分け等)、利用者や家族に対するの説明対応、新聞やテレビ等の報道対応、患者や関係した全てのスタッフに対する心のケアセンターの開設、風評被害対応等様々な体験事例を発表された。
  - ・クラスター発生時は早期に対応することで、その後の終息に大きく影響する。
  - ・風評被害があり、「熊本から出ていけ」等の言葉や、スタッフの家族が幼稚園に登園することを拒まれた。訪問のキャンセルや母体病院に対する苦情を耳にすることもあった。事業所名が入った訪問車で訪問時は、車が傷つけられてはいないだろうか心配することもあった。
  - ・母体病院と訪問看護事業所とは離れた場所で、事業所からは新型コロナウイルス感染者はほとんど出ていない場合でも、風評被害等で新規の訪問依頼が減少した。又利用者や家族等が訪問のキャンセルを希望されたこともあり事業所の訪問件数は減少し、事業所の運営にもかなり影響した。
  - ・訪問スタッフは感染対応で身体的にも精神的にも疲れたが、利用者等からは気遣いや激励の言葉を掛けていただくこともあり、助けられることもあった。又同地区のステーションから連携の申し出があり、励みになった。

新型コロナウイルス対応も災害と同じであり、再び感染が拡大する事も考えられ、どの事業所も起こる可能性がある事を自覚し、日頃から感染防止対策の準備をしていく事が必要である。訪問看護連絡協議会の「頼れる・つながる・支え合う」のスローガンの様に、管理者会での活動を通し、他のステーションとの繋がりを強め、支え合う事が必要だと強く感じた。

3) 「在宅におけるリアルなPPE装着で動画を学ぼう (いまさら聞けないPPE装着実践編)」

(木村連絡協議会 会長)

事前に撮影された在宅を想定したPPE着脱の動画をもとに、注意点等細かく説明された。

新型コロナウイルス感染だけではなく他の感染症にも対応できるように、熊本県の補助事業である熊本県看護協会の訪問看護サポート強化事業の一環として、熊本県訪問看護連絡協議会と共同で「訪問看護における感染管理(PPE着脱中心)」DVDを、熊本県の全訪問看護ステーションに配布予定である。

(R3年12月頃配布予定)

4) <質疑応答>

①Q→定期訪問している利用者様が発熱していた場合、その時点でPPE(个人防护具)装着をするようにスタッフには指導をしている。その場合の注意点等ご意見を聞かせていただきたい。

A→基本的に利用者様には何かしら感染症があることを想定し、訪問することを心掛ける。

②Q→訪問バッグなどの荷物を訪問先に持ち込んだ場合の対応はどのようにすればいいか？

A→訪問時に持ち込んだ物品は全てビニール袋を2重にして包み、72時間放置しその後アルコール消毒する。

③Q→新型コロナウイルスに濃厚接触された方等への訪問看護に伺う際の、事前準備や物品を教えてください。

A→事前準備として、利用者やご家族にPPEを装着して訪問することを伝えておく。利用者宅の換気をお願いし、利用者や家族と訪問看護師はお互いマスクを装着する。訪問バッグは基本持ち込まない。

物品は2重にした45Lくらいの大きなビニール袋、手袋2セット、ゴーグル(フェースガード)、ヘアーキャップ、フットカバー、床に敷くビニール等準備する。訪問看護師のポケットにはビニール袋に入れたマスクを準備する。

ビニール袋から取り出しやすいように、物品は順序良く入れておく。アルコール消毒液なども準備する。訪問終了後、2重にしたビニール袋は訪問先から持ち帰らず、72時間放置し利用者や家族に廃棄してもらう。

④Q→マスクを装着していたが感染した事例があったが、目からの感染も考えられるがどうされているか？

A→ゴーグルやフェースガード等で目も保護して訪問してほしい。

5) 閉会のあいさつ 熊本県看護協会 井手副会長

本日の研修会に熊本県内の多くの訪問看護ステーションの方々が参加され、学びを共有されたことと思います。今後も感染拡大の可能性もあり、感染対策を行い、熊本県の在宅医療を支えていただきたいと思います。熊本県看護協会でも感染拡大でオンラインでの研修が多かったが、徐々に対面での研修も行っております。訪問看護のスキルアップや介護施設に対して多数の研修を企画しておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。